

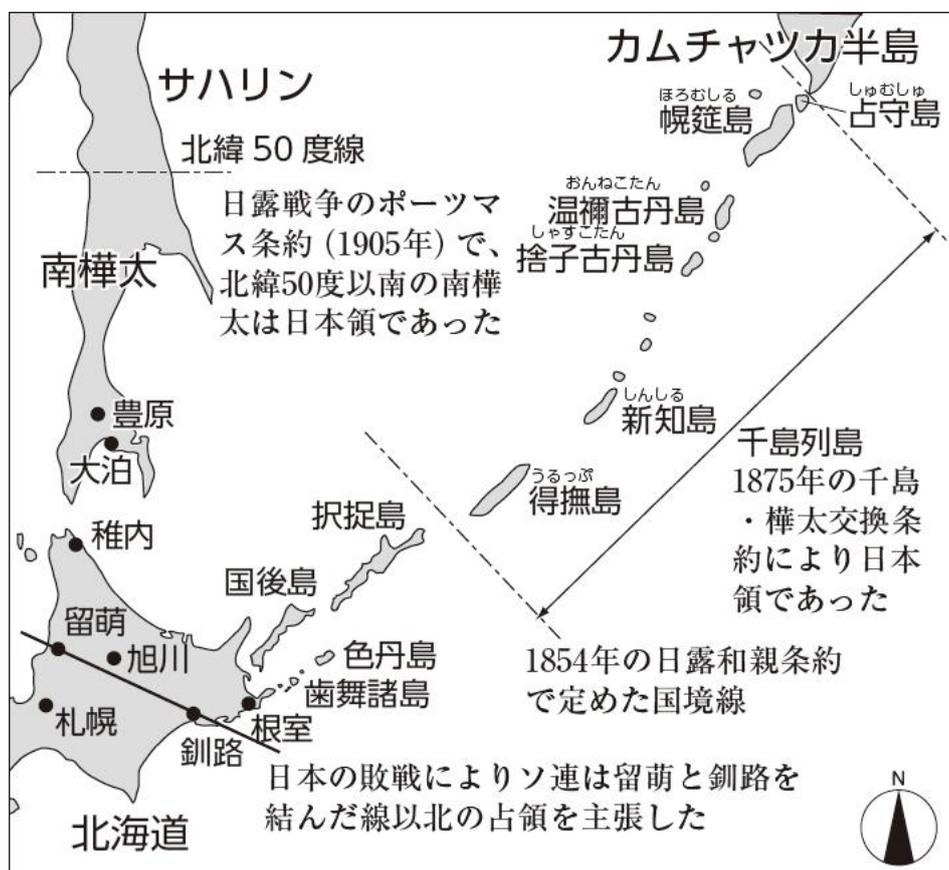
## ソ連の北海道分断・占領を防いだ男

終戦日は69年前の8月15日であるが、千島列島最北部で日本の領地の死守の為に、必死でソ連軍と戦っていた司令官と日本陸軍がいた。この司令官こそ、ハルピン特務機関長としてユダヤ難民を救う最初の道を開き、又日本で初めてアッツ島が玉砕する寸前、隣のキスカ島の完全撤退の実行を大本营に飲ました男として知られる樋口季一郎である。

大戦末期、昭和20年（1945年）2月4日～11日までクリミヤ半島のクリミヤでルーズベルト・チャーチル・スターリンの3ヶ国首脳会談が行われ、ルーズベルトがソ連による千島列島と南樺太の領有を認めることを条件に、スターリンに日ソ中立条約を破棄して対日参戦を促した。これが『ヤルタ密約』である。ルーズベルトは2ヶ月後急死、トルーマンが大統領に昇格した。

昭和20年8月15日トルーマンはスターリンに対し、ソ連の占領地域を満州と北緯38度以北の朝鮮と通告した。ヤルタ密約と異なり、千島列島は含まれておらず、ソ連はこの内容を不満としトルーマンに次の要求をする。

- ① 千島列島全土（ヤルタ会談の約束厳守）
- ② 北海道の北半分を明け渡すこと（境界線は釧路から留萌を通る線とする。両市は北半分に含まれる）。



これに対しトルーマンからは北海道の主張を認めない事を通告してきた。しかしソ連は無視し、ワシレフスキー元帥に3個師団の上陸部隊を出せるよう指令を発する。この件についてはソ連の「北海道・北方領土占領計画」が山形県鶴岡市のシベリヤ資料館で発見された。それによるとソ連は半分どころか、全島の占領をもくろんでいた事が分かるそうだ。

千島列島の最北端の占守島（シュムシュトウ）に昭和20年8月18日午前0時過ぎ、カムチャッカ半島のロパトカ岬から長射程砲の砲撃が開始された。「ソ連軍、占守島に不法侵入を開始す」の電文が91師団長 堤中將から第5方面軍司令部に届く。司令部幕僚達は顔を見合わせ沈黙が続く。この時、樋口季一郎は**自衛の為戦闘を命ずべきか戦闘行為を禁じていた大本營の指令に従うべきか悩む**。

実際には、ソ連軍は上陸用舟艇16隻等、54隻の艦船、総人員8,300人、昭和20年8月18日午前2時に島北端の国端岬に急襲上陸を図る。樋口中將は大本營の指示には従わず、領土を守る為、反撃命令を発する英断を下す。命令違反はこれで2回目である。1日で全島を占領し、千島列島を南下する計画だったが、予想外の抵抗により大きな被害を出し、変更を余儀なくされる。結局ソ連軍は上陸地点で釘付けとなったまま、戦闘は昭和20年8月21日に終結した。

ソ連側の記録では、ソ連軍の死傷者は日本軍をはるかに上回ったとされている。ソ連イズベスチャ紙などは、占守島の戦いを「満州・朝鮮における戦闘よりはるかに損害は甚大であった」と伝えていることから、如何に激しい戦闘が繰り広げられたかが想像できる。樋口中將は戦いに勝利し、昭和20年8月31日停戦を迎えている。



占守島には当時の激戦の爪痕が残されたままになっている

樋口中将は武将としても実に立派な戦歴を残し、日本を守り貫いた。もし樋口中将の英断による占守島での日本軍の頑強な抵抗がなければ、その後の日本の北海道はソ連に占領されていただろう。そして満州や南樺太で起きた略奪、子女に対する暴行や強姦が繰り返され、民間人も青年の多くはシベリヤに強制連行されていただろう。さらに北朝鮮やドイツの様に半分に分断され、共産主義独裁国家が誕生し、日本民族同志で睨み合う状況が生まれたに違いない。その事を思うと樋口中将の功績は非常に大きい。ソ連の北海道占領計画は昭和20年8月19日の産経新聞「日本史の中の危機管理」を見る迄、多くの人は知らなかったと思う。

「人多き中にも人はなし」でなかなか人物は生まれ難い、特に平穏な時代には生まれにくい。

激動の時代にも樋口季一郎のように退職を覚悟の上で正義＝日本の原点（八紘一宇）に常に忠実に生きた将軍の生き様に、尊敬の念を払わずにはいられない。又、反ユダヤ一色の国際社会の尻馬にのらず、同調しなかった日本人の生き様にも、また天皇の意志である八紘一宇の精神を「我が心」とした日本人の意志にも誇りを感じる。

戦後、ソ連極東軍は米占領下の札幌にいた樋口を戦犯としてソ連に引き渡すよう要求した。その理由は、樋口がハルビン特務機関長だっただけでなく、敗戦時には札幌の北部司令官であり、樺太や千島列島最北の占守（しゅむしゅ）島でのソ連軍との戦闘（占守島でソ連軍は苦戦した）の総司令官だったからだ。しかし、マッカーサー総司令部は樋口の引き渡しを拒否した。後で判明したことが、ニューヨークに総本部を置く世界ユダヤ協会が、大恩人の樋口を守るために米国防総省を動かしたのである。

他の世界の宗教で猶太民族を救えたか？ キリスト教も反ユダヤだった。八紘一宇は宗教でもなければ、ヒトラーやソ連のスターリンの「全体主義」でもない。戦後、八紘一宇は「ユニバーサル・ブラザフッド」と訳されたが、的を得ているかどうか？ この問題はこれから世界が深く思考する問題であろう。

**我々は日本精神に帰るべきではなからうか？**

平成26年10月13日  
志雲会代表 有馬正能